

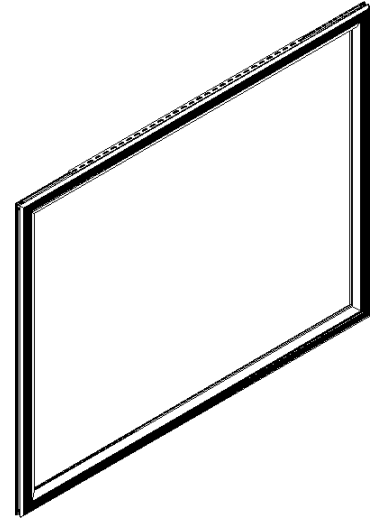
設置・取扱説明書

お客様へ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機の取り付けについて、工具をお持ちでないとき、作業に慣れないとき、下地の有無など不明なとき、コンクリートに設置するときは取り付け専門業者に設置を依頼してください。

- 取り付け専門業者につきましては、販売店および当社にお尋ねください。
- 工事を請け負われた工事業者のかたは設置完了後、この取扱説明書をお客様へお渡しください。



PX-080H
 PX-090H
 PX-100H
 PX-110H
 PX-120H
 PX-130H
 PX-140H

もくじ

安全上のご注意	2
部品の確認	3
製品構成と各部の名前	4
取り付け工事上の留意点	5
お取り扱い上の留意点	5
組立要領	9
設置要領	10～11
生地について	12～14
仕様	15
保証書	16

この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意

安全のために、必ずお守りください。

本説明書ではお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

警告



火気のある場所での組み立てや設置は行わない
火災の原因となり大変危険です。



長期使用を考慮して設置場所の強度を確保する
長期使用により設置場所の強度が不足すると本体が落下してけがの原因となります。



設置作業は必ず二人以上で行なう
本体が倒れたり、破損してけがの原因になります。



スクリーンは正しく水平に設置する
不安定な取り付けをすると、本体が倒れたり、破損してけがの原因になります。



ねじ止めの箇所はすべてしっかりと締め付ける
不十分な組み立て方をすると、強度が保てず倒れたり、破損してけがの原因になります。

注意



スクリーンフレームの角などに寄りかからない
倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。



スクリーンに鋭利な刃物、尖った金属等を近づけない
破損の原因になります。

- 取り扱い上の不備、または天災等による事故、損傷について当社は責任を負いません。

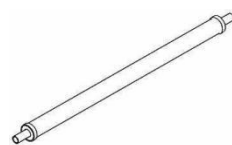
部品の確認



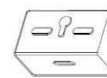
上部および下部フレーム(ロング)



左右のフレーム(ショート)



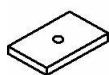
スクリーン生地



スクリーン取付金具



コーナージョイント



M6板ナット



スプリング



リリースフック



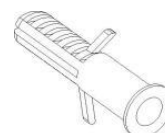
ねじA
(十字穴付きトラス小ねじM6x8)



ねじB
(十字穴付きトラス小ねじM6x12)



ねじC
(十字穴付きトラスタッピング5x25)



アンカープラグ

部品数量表

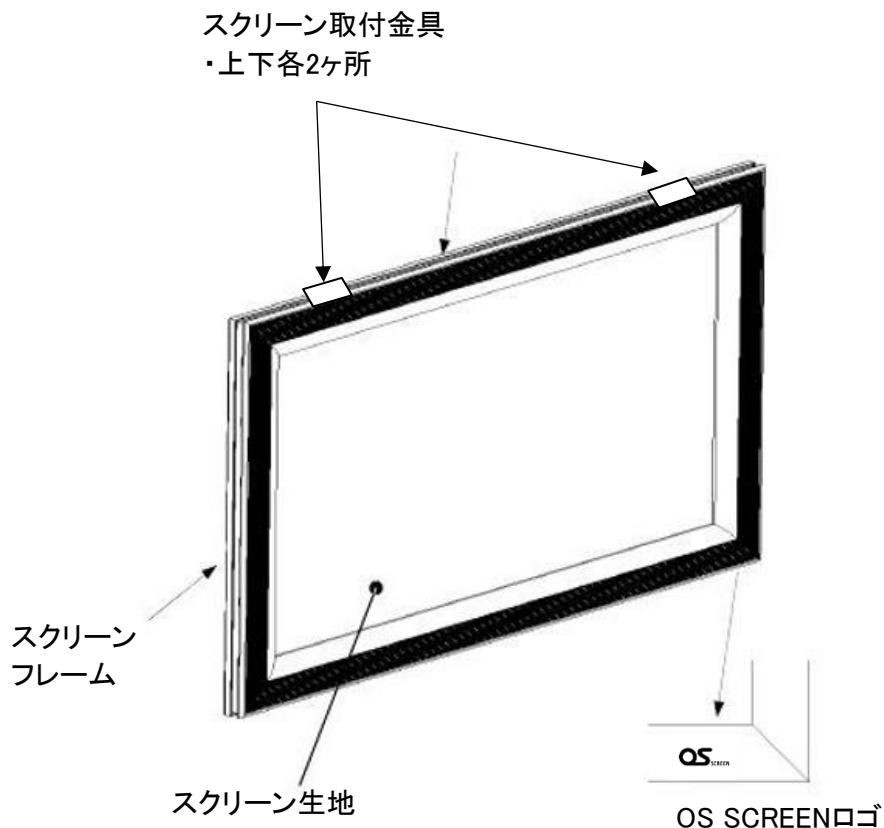
部 品 名	数 量
上下フレーム(ロング)	2
左右フレーム(ショート)	2
スクリーン生地	1
スクリーン取付金具	4
コーナージョイント	4
M6板ナット	4
スプリング	右表
リリースフック	1
ねじA	4
ねじB	16
ねじC	8
アンカープラグ	8

スプリング	80H	55
	90H	57
	100H	60
	110H	64
	120H	72
	130H	72
	140H	76

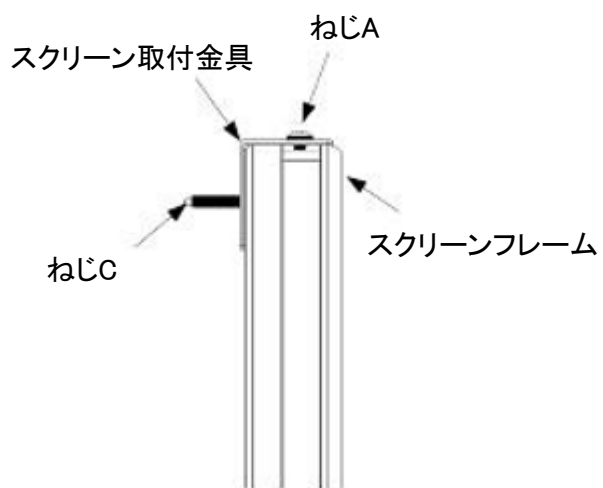
スプリングは予備として使用する数より多く入っています。

製品構成と各部の名前

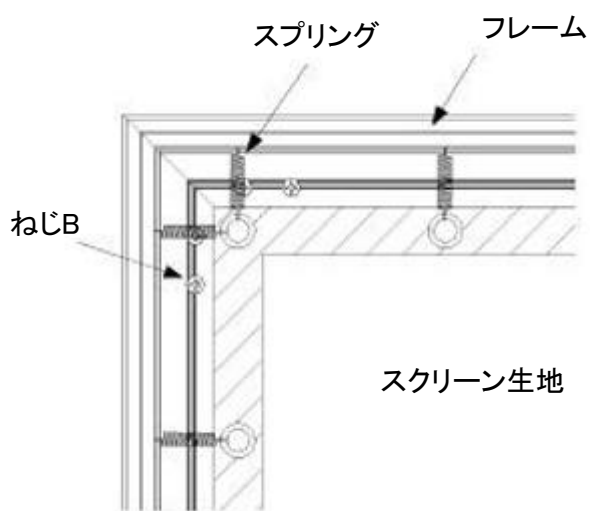
本製品は下図のように構成されており、さまざまな部品で組み立てられています。
施工および使用前に確認してください。



・側面図



・背面図



取り付け工事上の留意点

- スクリーンの性能保障やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。
 - 振動や衝撃の加わるおそれのある所
 - 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
 - 暖房機器の風が当たる所
- 取付け場所の構造や材質に合った方法で取付工事をおこなってください。
- 取付け工事中に製品や床に傷が付かないようにやわらかい毛布や布を使い作業してください。
- ねじ止めする時は、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。
- 取り付け工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。
- 取り付けはできる限り水平に取り付けてください。



警告

本機の設置面は、仕様に記載しているスクリーン質量を長期間支える強度が必要です。設置面の強度が不足していると本機が脱落する原因になり、大変危険です。

お取り扱い上の留意点

- この製品は映写効果を上げるため、スクリーン表面に特殊な加工が施されています。汚れや傷がつきますと映写効果を損なうことがありますので、次の点にご注意の上、ていねいにお取り扱いください。
 - スクリーン表面には手を触れないでください。
 - スクリーン表面に文字や絵を描いたりしないでください。
 - 固物でスクリーンをこすったり、ひっかいたりしないでください。



注意

スクリーン表面は、水で湿らせた布やベンジン、シンナー等の薬品類は使用しないでください。映写効果を損なう原因になります。お手入れ方法はスクリーンごとに異なりますので、「生地について」の項目をご参照ください。

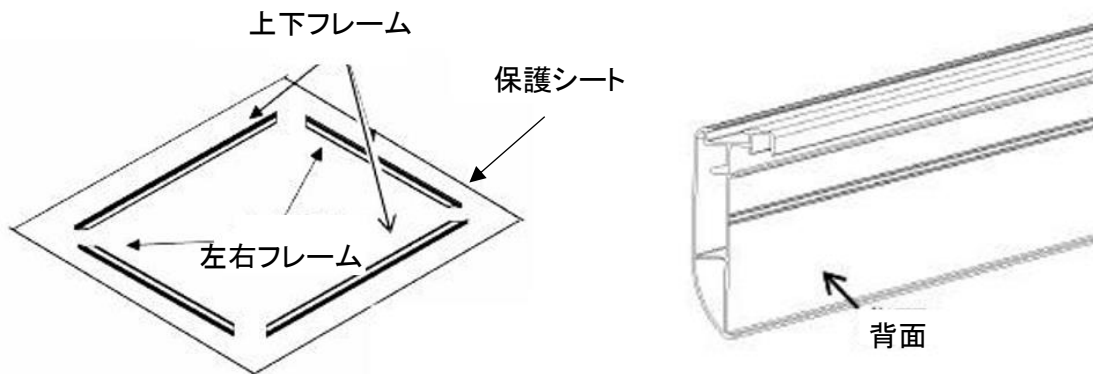
組立要領

別途ご用意いただくもの

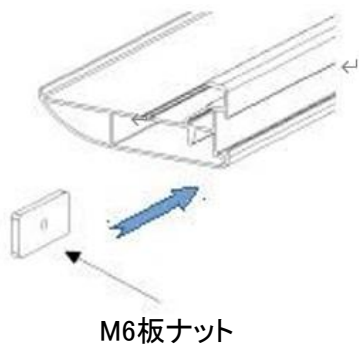
- 滑らかな作業面用の保護シート(スクリーン面の保護用)
- 軍手
- プラスドライバー

1. スクリーンフレームの組立

- 1) スクリーンフレームの表面を下にして保護シートの上に図のように置きます。
※表面にOS SCREENロゴがついているものが下フレームになります。



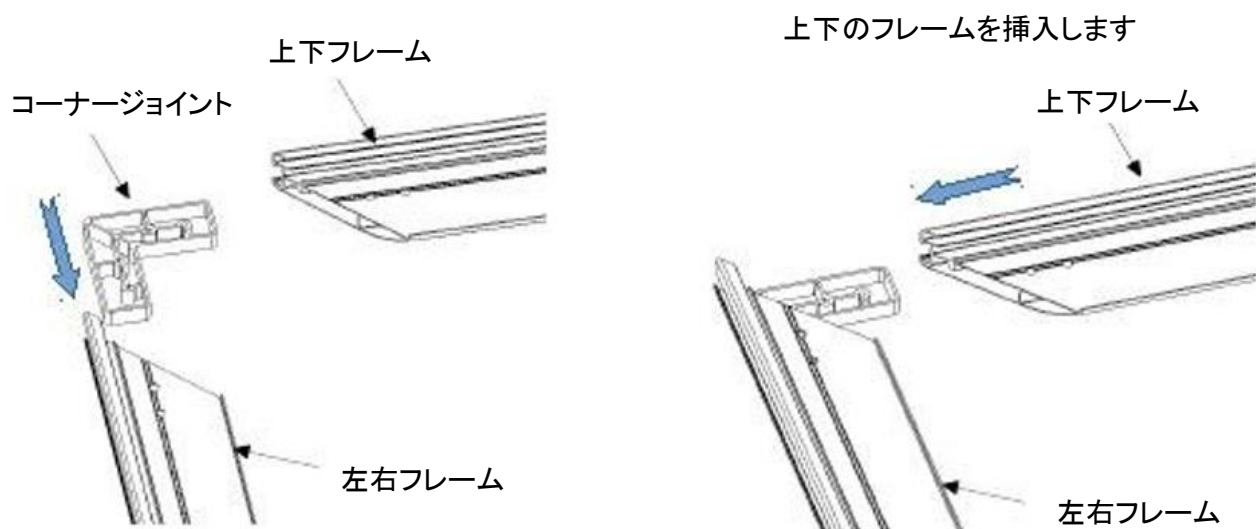
- 2) 上下フレームのスロットにM6板ナットを上下各2個の計4個差し込みます。



M6板ナット数量 : 上下各2個 (計4個)

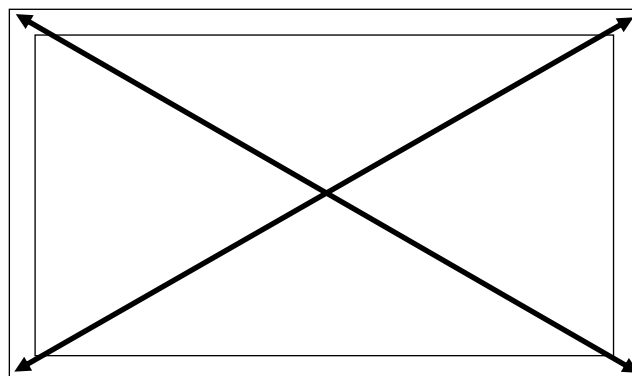
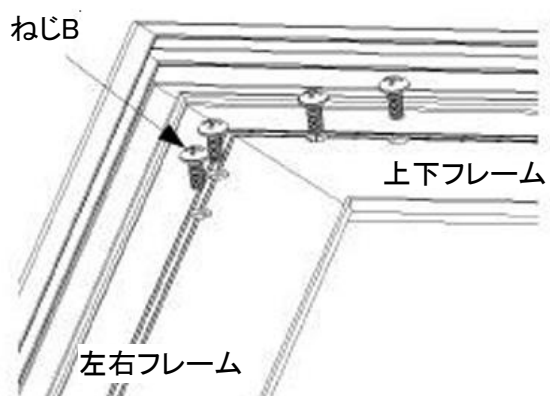
組立要領

- 4) コーナージョイントを左右のフレーム外側の溝に挿入し、上下のフレームに接続します。



- 5) 四隅を揃えながら、ねじ止めして、上下・左右のフレームを固定します。

スクリーンフレームの対角の寸法差が無いように調整し、上下・左右のフレームに隙間が空かないようにねじBを締めます。



組立要領

2. スクリーン生地を取り付け



注意

スクリーン生地を開く時は折り目やシワがつかないように注意してください。
映写効果を損なう原因になります。

1) スクリーン生地の仮止め (四隅のみ)

※スクリーン生地を取り付ける際は、折り目やシワがつかないように注意してください。

映写効果を損なう原因になります。

1)-1 スクリーン生地を組み立てたスクリーンフレームの上に置きます。

スクリーン生地を開く前にスクリーン生地角部分の保護フィルムを破り、図1,2,3のようにスクリーン生地の角とスクリーンフレームの2か所のコーナーを各2本のスプリングで固定します。

次に図3のように、ゆっくりとスクリーン生地を ← の方向に広げていきます。

スクリーンフレームとスプリングの取り付け部



図1



リリースフック

スプリング

ハトメ

図2

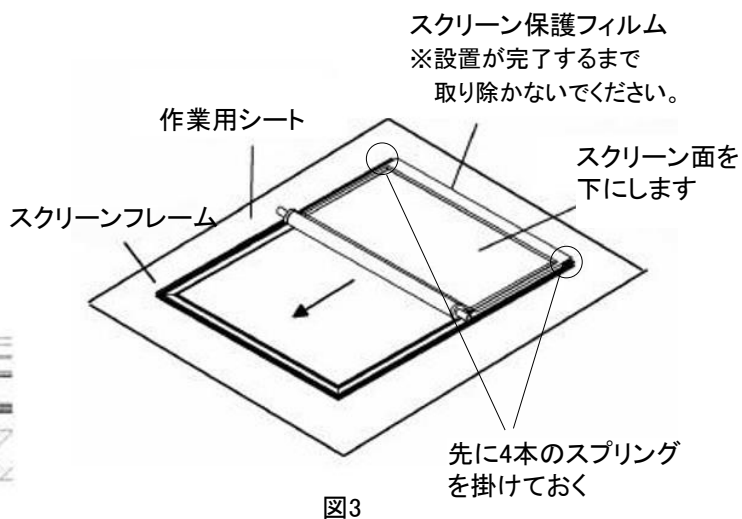
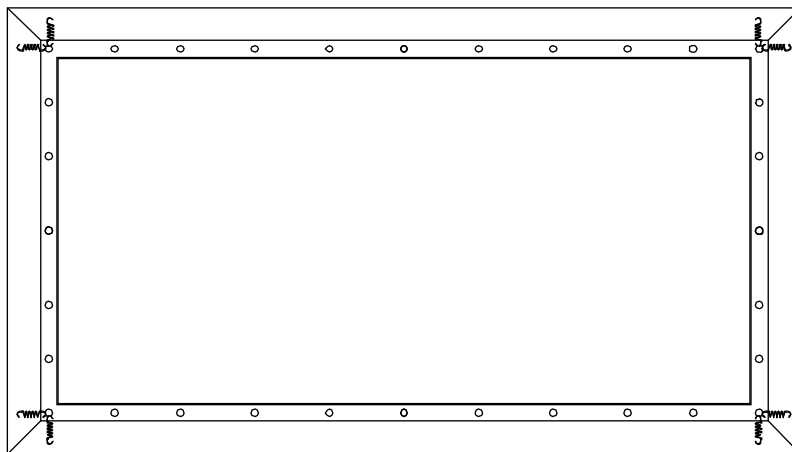


図3

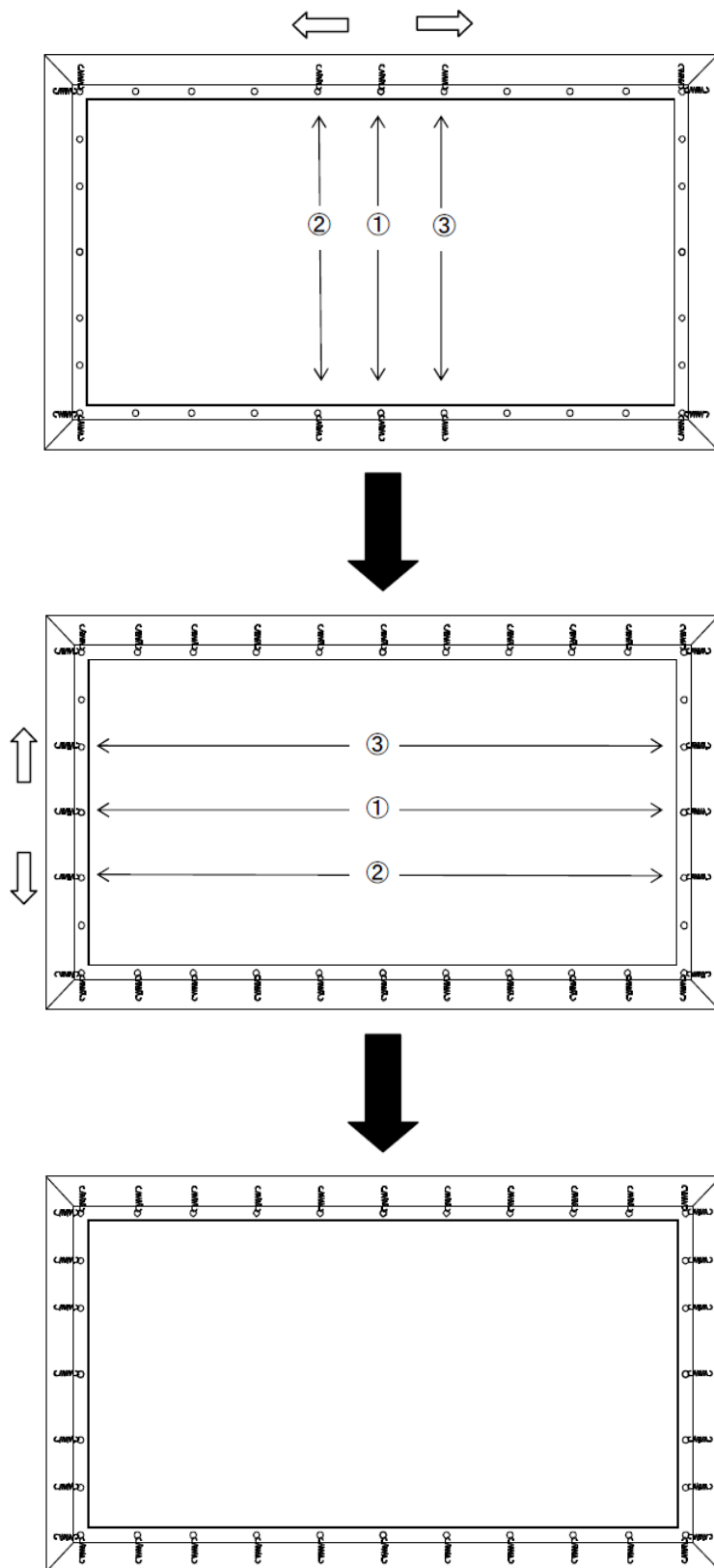
1)-2 スクリーン生地を広げたら、同じように残り2か所のスクリーン生地角部分の保護シートを破り、角部を各2本のスプリングで固定します。 ※四隅のみ固定します



組立要領

2) スクリーン生地を取り付け

上下フレームにスクリーン生地をスプリングで固定し、その後左右フレームにスクリーン生地を固定します。
中央部から端へ、スプリングを固定します。



スクリーン生地取り付け完了

設置要領



警告

本機の設置面は、仕様に記載しているスクリーン質量を長期間支える強度が必要です。設置面の強度が不足していると本機が脱落する原因になり、大変危険です。

お客様へ

強度不足など、設置場所によって付属のねじ(ねじC)で取り付けられない場合は、取り付け面の材質およびスクリーン取り付け金具の長孔に適合するねじおよびアンカー等を別途ご用意ください。

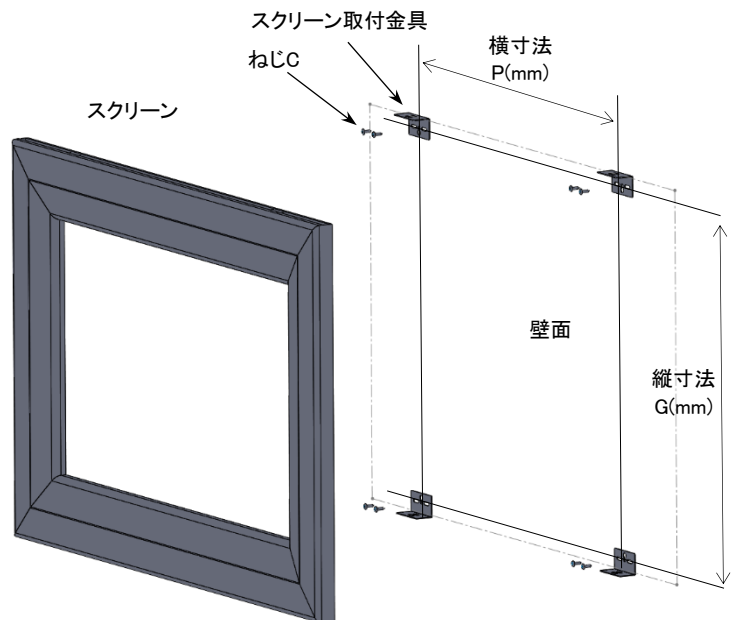
- 1) スクリーン取付金具(上下各2個)を壁面に適切なねじで取り付けます。
この時、スクリーン取付金具が水平になっていることを確認してください。
(取り付けにねじCを使用する場合、ねじの本数はP3の表を参照ください。)

※ 天井面とスクリーン上部との間にスペースがない場合は次ページをご覧ください。

取付用アングルの設置ピッチ

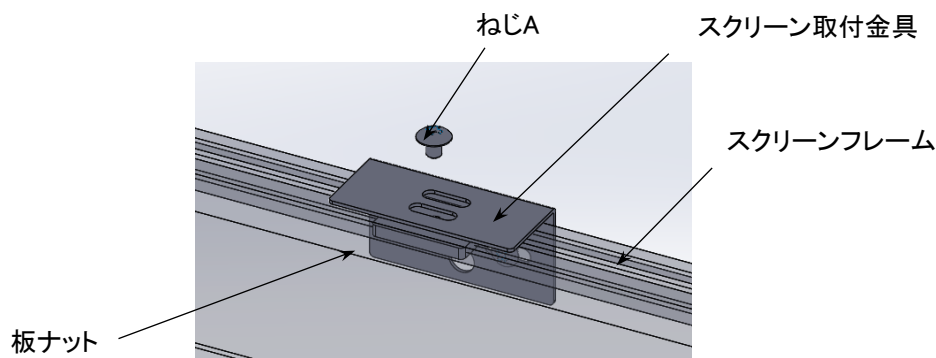
型 式	横寸法 P(mm)	縦寸法 G(mm)
PX-080H	1,495	1,154
PX-090H	1,716	1,279
PX-100H	1,938	1,403
PX-110H	2,159	1,528
PX-120H	2,381	1,652
PX-130H	2,602	1,777
PX-140H	2,823	1,901

※横寸法Pは推奨寸法になります。



※下フレームにはOS SCREENロゴがついています

- 2) スクリーンの表面に触れないように保護シートを取り外します。
- 3) 上下フレームとスクリーン取付金具の位置を合わせ、上下フレームに挿入されたM6板ナットとスクリーン取付金具をねじAにて固定します。



設置要領

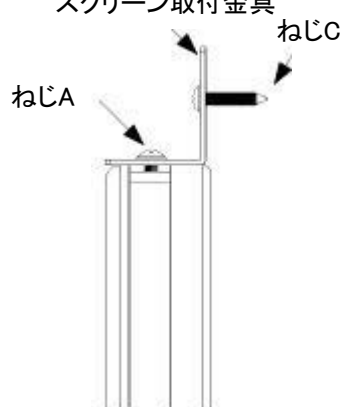
天井面とスクリーン上部との間にスペースがない場合の設置方法

- 1) スクリーンの上下フレームに挿入された板ナットにスクリーン取付金具を下図の方向で取り付けます。
(取付け位置や数は前ページを参照してください。)
- 2) スクリーンの表面に触れないように保護シートを取り外します。
- 3) 設置するスクリーンの位置および平行を確認し、ねじCにて、壁面に固定します。

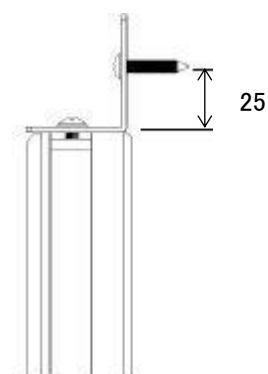
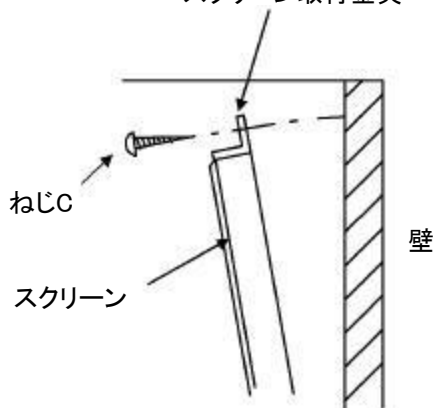
スクリーン取付金具



スクリーン取付金具



スクリーン取付金具



生地について

スクリーンは使い始めのうちは臭いがします。窓を開けるなどして十分に換気をおこなってください。こまめな換気により臭いは次第に弱くなります。

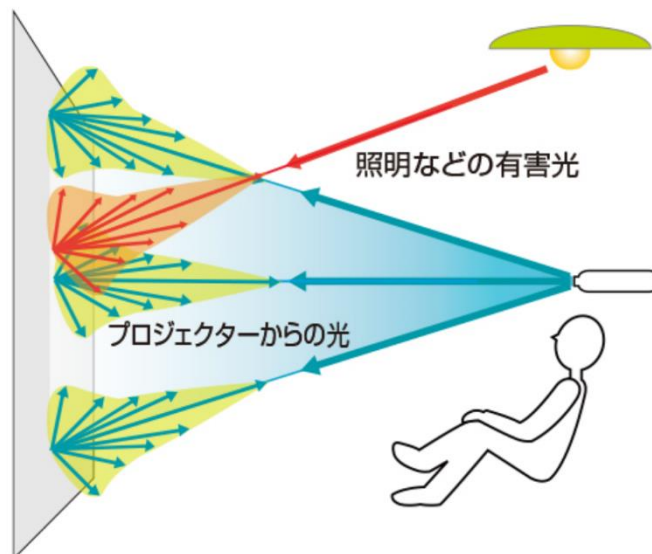
(臭いが気にならなくなるまで数日かかる場合があります。収納タイプはスクリーンを引き出した状態で換気をおこなってください。)

また気温や湿度の上昇も臭いの原因になりますので、夏場など臭いが強い場合は継続して換気をおこなってください。

■ レイドール (HF) の特長

- HDR 対応プロジェクター専用スクリーン。高ゲインでありながら、ホットスポットを抑えた幕面です。明るさを伸ばしながら黒浮きも抑えた階調の広さが特徴です。しかも視野角をできるだけ広くとれるよう、拡散型・回帰型・反射型のそれぞれの特性を兼ね備えたスクリーンです。
- HDR 対応プロジェクターは天吊りや床置き等、お部屋の状態に合わせてお好みの位置でご利用いただけます。

HFレイドールはプロジェクターから受ける光と同様に、外光や照明光などのプロジェクター以外の光も反射します。観賞の際には、スクリーンにプロジェクター以外の光が当たらないようにできるだけ暗い環境にすることで、より素晴らしい映像が得られます。



■ レイドール (HF) のお手入れ方法

- スクリーン表面には触れないでください、柔らかい布や羽はたきでもNGです。
- ほこり等が付着した場合は、微粘着テープの粘着面を軽く触れさせるようにして取り除いてください。



注意

HFレイドールは表面素材に特殊加工がされています、スクリーン表面に触れたり、こすったり、折ったり曲げたりしないでください。映写効果を損なう原因になります。

※ このお手入れ方法はHFレイドール用であり、他のスクリーンには適していません。

生地について

スクリーンは使い始めのうちには臭いがします。窓を開けるなどして十分に換気をおこなってください。こまめな換気により臭いは次第に弱くなります。

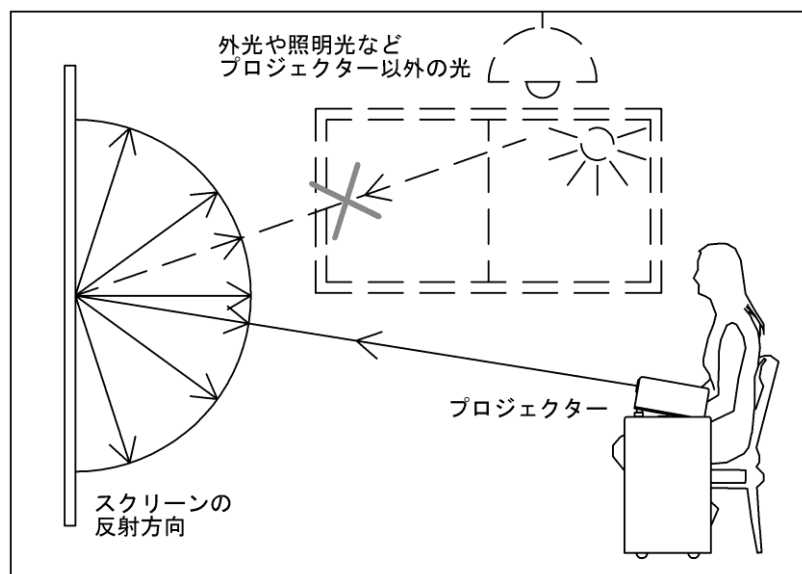
(臭いが気にならなくなるまで数日かかる場合があります。収納タイプはスクリーンを引き出した状態で換気をおこなってください。)

また気温や湿度の上昇も臭いの原因になりますので、夏場など臭いが強い場合は継続して換気をおこなってください。

■ サウンドマット (WS) の特長

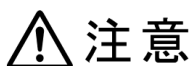
- 細密なニット織りの編み目の間から音を透過させるタイプのサウンドスクリーン。そのため穴あけタイプのものに比べ、高音域にも優れた音響透過特性を持ちます。
- 特殊なバックコーティングを施す事で、光の回帰を遮断し映像面への影響を低減。映像側の幕面は特殊な表面コーティングにより、視聴者の位置に係わらず均一で自然な映像再現をする拡散型の特性を持たせています。
- プロジェクターは天吊りや床置き等、お部屋の状態に合わせてお好みの位置でご利用いただけます。

WSサウンドマットはプロジェクターから受ける光と同様に外光や照明光などのプロジェクター以外の光も全方向に反射します。観賞の際には、スクリーンにプロジェクター以外の光が当たらないようにできるだけ暗い状態にすることで、より素晴らしい映像が得られます。



■ サウンドマット (WS) のお手入れ方法

- スクリーンについたほこりは、毛先のやわらかいブラシ(パソコン用ブラシ)や羽はたきで軽くなでるようにして払い落としてください。



注意

サウンドマットは編物素材のスクリーンですので、お手入れの際には強くこすったり、折り曲げたりしないようご注意ください。映写効果を損なう原因になります。

※ このお手入れ方法はWSサウンドマット用であり、他のスクリーンには適していません。

生地について

スクリーンは使い始めのうちは臭いがします。窓を開けるなどして十分に換気をおこなってください。こまめな換気により臭いは次第に弱くなります。

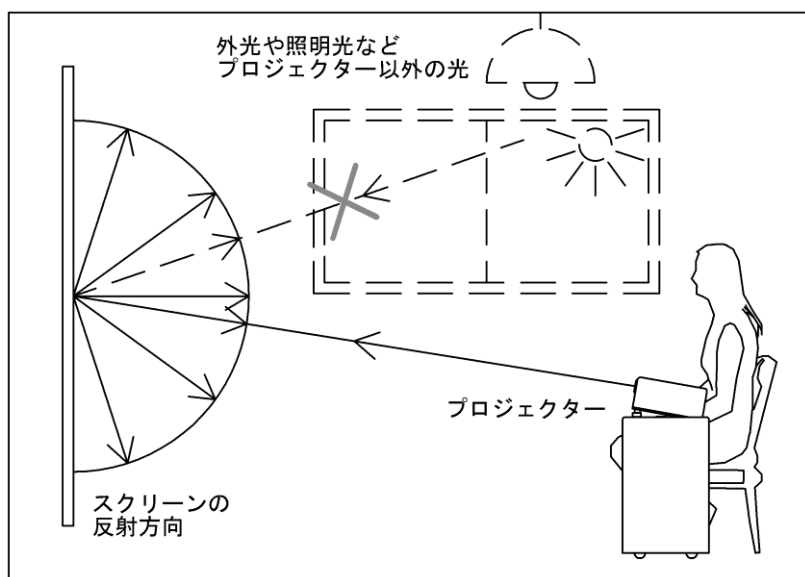
(臭いが気にならなくなるまで数日かかる場合があります。収納タイプはスクリーンを引き出した状態で換気をおこなってください。)

また気温や湿度の上昇も臭いの原因になりますので、夏場など臭いが強い場合は継続して換気をおこなってください。

■ ピュアマット (WF) の特長

- プロジェクターから受けた光を全方向に反射しますので、どこから見てもほぼ同じ明るさで自然な映像が楽しめます。
- プロジェクターは天吊りや床置き等、お部屋の状態に合わせてお好みの位置でご利用いただけます。
- プロジェクターの持つ性能に素直に反応する、くせのないスクリーンです。
- 環境にやさしい、織物素材のスクリーンです。

WFピュアマットはプロジェクターから受ける光と同様に外光や照明光などのプロジェクター以外の光も全方向に反射します。観賞の際には、スクリーンにプロジェクター以外の光が当たらないようにできるだけ暗い状態にすることで、より素晴らしい映像が得られます。(ピュアマットは織物素材のスクリーンなので、ご利用前に照明等の光によって表面にシワが見えることがありますが、映像には影響がありません。)



■ ピュアマット (WF) のお手入れ方法

- スクリーンについたほこりは、毛先のやわらかいブラシ(パソコン用ブラシ)や羽はたきで軽くなでるようにして払い落としてください。

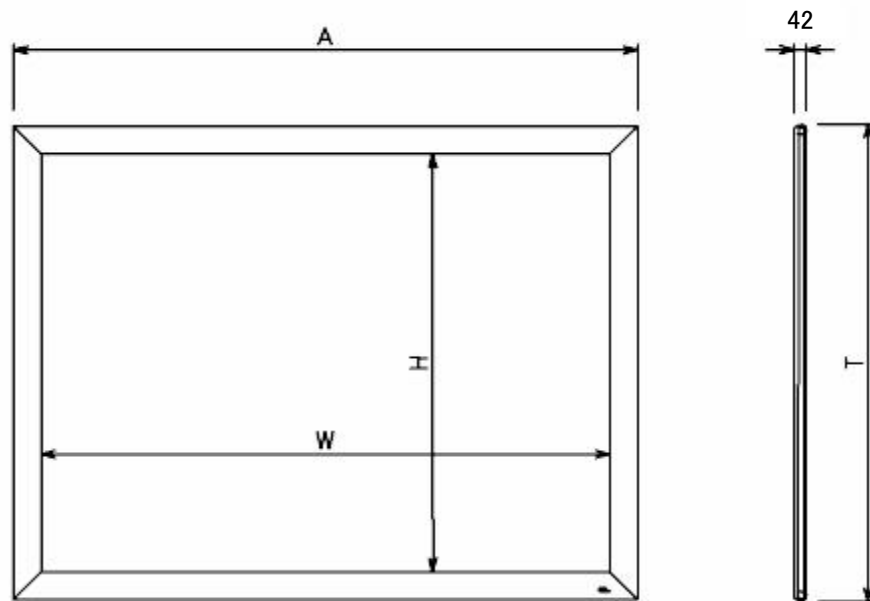


注意

ピュアマットは柔らかい編物素材のスクリーンなので、お手入れの際にはこすったり、折り曲げたりしないようご注意ください。映写効果を損なう原因になります。

※ このお手入れ方法はWF ピュアマット用であり、他のスクリーンには適していません。

仕様



型 式	イメージサイズ W×H (mm)	全幅 A (mm)	全高 T (mm)	質量 (kg)
PX-080H	1771×996	1975	1211	9.6
PX-090H	1992×1121	2196	1336	10.6
PX-100H	2214×1245	2418	1460	11.0
PX-110H	2435×1370	2639	1585	12.8
PX-120H	2657×1494	2861	1709	13.5
PX-130H	2878×1619	3082	1834	15.3
PX-140H	3099×1743	3303	1958	16.4

・仕様と外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

■ 故障の場合

修理が必要な場合は、取扱店またはテクニカルサポートセンターまでご連絡ください。
この『取扱説明書』を紛失した場合は取扱店またはテクニカルサポートセンターにご相談ください。
この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの取扱説明書をかならず添付して譲渡してください。

保証書

品名 組立・張込スクリーン

お客様名

取扱店

ご購入年月日

住所／TEL

保証期間

ご購入の日より

本体

1年間

1. 保障期間内であっても次の場合は有償修理となります。
 - (1) この保証書のご提示がない場合。
 - (2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
 - (3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
 - (5) 火災や天災等による故障および損傷。
 - (6) 消耗品および付属品の交換の場合。
 - (7) スクリーン表面の汚れ・損傷に関する修理。
2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し受けます。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちに
お買い上げ取扱店にお申し出ください。
 - ※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only Japan

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱店または下記テクニカルサポートセンターまでお問い合わせください。

製造販売元 株式会社 **オーエスエム**

連絡先:株式会社オーエス テクニカルサポートセンター

〒557-0063 大阪市西成区南津守6-5-53

TEL:0120-465-040 FAX:0120-380-496

(受付時間:平日9:00~17:50 ※土日祝祭日を除く)

E-mail: info@os-worldwide.com